

緊急事態宣言下における新型コロナウイルスの 企業経営への影響についての多重クロス分析

田浦 元

(広島経済大学 メディアビジネス学部 教授)

【要約】

本論文は、新型コロナウイルスの企業経営への影響について、緊急事態宣言発令以前と緊急事態宣言下における傾向の相違について多重クロス分析を行い、時期別業種別多重クロス集計表を作成した。分析の結果以下の5点が明らかとなった。

- 1, 緊急事態宣言発令以前の活動自粛期から、企業活動への大きな影響が出ていたこと
- 2, 緊急事態宣言下では、その影響は更に深刻なものとなったこと
- 3, これらの影響についての業種別の特徴的傾向

建設業…商談遅延、国内からの調達支障、原材料価格上昇の影響が大きかった
製造業…国内外への出張中止、海外からの調達支障、資金繰りの悪化が深刻だった。

流通・商業…来店数の減少、イベント中止等、が他業種より高かった
サービス業…予約キャンセル、来店数の減少と、感染防止策や勤務調整についての影響が深刻だった

- 4, 業種別の特徴的傾向も、緊急事態宣言発令以前と宣言下では異なっていること
建設業…売買契約から完成までに時間を要するため、予約キャンセルとそれに伴う資金繰りの悪化が、他業種よりも遅れて第2回調査で顕在化した。
製造業…緊急事態宣言発令以前と宣言下で影響の傾向は概ね同様であったが、上位項目における影響は更に深刻なものとなった。
流通・商業…上位項目の回答割合の増加と共に、営業自粛、休業、従業員の時差出勤、資金繰りの悪化が深刻化した。
サービス業…緊急事態宣言下で、来店数の減少と営業日数の減少が更に深刻化し、その結果資金繰りが悪化した。また、感染防止のための物資の不足、および、従業員の勤務調整についての影響が深刻だった。
- 5, わが国企業が緊急事態宣言発令以前から、緊急事態宣言下と遜色のない企業活動の「自粛」を実施していたこと

【感想】

私たちが2020年度の論文執筆のために調査させていただいた時、「製造業はコロナの影響

が出てくるのに時間がかかる」とおっしゃっていた経営者様何名かとお話させていただきました。本稿の表1を見ると、このことが顕著に表れていた。一方、今年度の論文は、業種別でコロナの影響を調べていきたいので、本稿はこの点で大変参考になった。業種毎でコロナの影響の出方の違いが詳しく書かれていたので、この点を参考にし論文に活かしたい。